



平成25年3月期 第1四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成24年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 ヒラキ株式会社

コード番号 3059

URL <http://company.hiraki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 今本 清治

TEL (078) 967-4601

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,919	△5.2	343	△20.6	263	△27.2	174	△17.0
24年3月期第1四半期	6,247	△0.8	432	25.4	361	52.0	209	51.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期115百万円 (△38.2%) 24年3月期第1四半期186百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	36 15	35 80
24年3月期第1四半期	43 51	43 04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	17,349	4,079	23.5
24年3月期	15,920	3,989	25.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 4,079百万円 24年3月期 3,989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		10 00	—	10 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,100	0.7	420	2.9	310	8.7	170	8.5	35 42
通期	22,000	1.5	780	8.1	620	5.2	340	—	70 83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社(社名) 除外 ー 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却の方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期第1Q	5,155,600株	24年3月期	5,061,600株
② 期末自己株式数	25年3月期第1Q	266,800株	24年3月期	261,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期第1Q	4,815,129株	24年3月期第1Q	4,821,514株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年6月30日)におけるわが国経済は、復興需要関連などの影響もあり国内需要が堅調に推移するも、緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州政府債務危機等を巡る不確実性が再び高まっており、さらには電力供給の制約、デフレの影響等、景況感は依然として先行き不透明な状況にあります。

靴業界におきましても、個人消費については一部で緩やかな回復の兆しがあるものの、依然節約志向の傾向にあり、また、4月以降も気温の低い状態が続いたため春物商品の需要が遅れる等、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、前期より引き続き原点に立ち返り当社グループの強みである「靴の強化」に取り組み、事業展開を進めてまいりました。

ディスカウント事業におきましては、4月の日高店改装をもちまして「靴の強化」として取り組んでまいりました靴売場の改装を全店において完了いたしました。引き続き、低価格商品から各種一流インポートブランドをはじめとする高級・高額商品まで取り揃え、従来からの絶対的安さだけでなく、相対的安さも追求した商品構成とし、岩岡店は、広さ、内容ともに「日本一の靴店」を、他の支店では「圧倒的な地域一番店」を目指した売場づくりを推進してまいりました。また、従来からの『特価大商談会』の開催に加え、営業本部を中心とした仕入体制の強化を行い、競合店との差別化に向けた新規の取引先の開拓に全社を挙げて取り組み、バラエティ・ディスカウント・ストアとしてより魅力的かつ価格競争力のある商品の品揃えに努めてまいりました。

通信販売事業におきましては、販売実績の分析から新商品開発までのプロセスの短縮化、店舗靴売場における売れ筋情報を通信販売事業へフィードバックする体制の構築など、商品力の向上に取り組み、お客様に「驚き・楽しさ・満足感」をお届けできるよう開発商品を順次投入いたしました。具体的には、爽やかな5色のマリンカラーから選べるメッシュ素材の『499円レディースカジュアルシューズ』がすでに20万足近い受注となっているほか、夏に人気のグラディエーターデザインサンダルを、母娘お揃いで履ける『499円レディースサンダル・ジュニアサンダル』として販売しており、価格をワンコイン(500円)以下に抑えながらも、それ以上の満足感をお届けする商品の開発に取り組みました。

このような取り組みにもかかわらず、主に通信販売事業での新規顧客の獲得数が伸び悩み、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は、59億1千9百万円(前年同四半期比5.2%減)となりました。

利益面につきましても、引き続き徹底したローコストオペレーションに取り組みましたが、売上高の減少を補うまでにはいたらず、当第1四半期連結累計期間における営業利益は3億4千3百万円(前年同四半期比20.6%減)、経常利益は2億6千3百万円(前年同四半期比27.2%減)、四半期純利益は1億7千4百万円(前年同四半期比17.0%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、当第1四半期連結累計期間において中心となる4月、5月のカタログの受注金額が低調な推移となり、また、パソコンサイトやスマートフォンサイトなどインターネットによる新規顧客獲得につきましても、訪問者数は増加しましたが当初予想ほどの受注の増加には繋がりませんでした。

この結果、売上高は31億1千4百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。利益面では、カタログ製作費用の削減、物流業務の効率化に引き続き取り組み、収益改善に努めましたが、売上高の減少が影響し、セグメント利益（営業利益）は4億5千3百万円（前年同四半期比17.0%減）となりました。

② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、「靴の強化」に取り組んだ結果、靴の売上高を伸ばすことはできましたが、競合店との価格競争の激化など一部店舗での客数の減少が影響し、前年同四半期の売上高を確保するにはいたりませんでした。

この結果、売上高は26億9千3百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。利益面では、靴の売上構成比率が高まることにより粗利率は改善いたしました。また、「靴の強化」をお客様にアピールするための積極的な広告宣伝の実施などが影響し、セグメント損失（営業損失）は1百万円（前年同四半期は6百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、既存のOEM販売先に加えて新たなOEM販売先の獲得に取り組みましたが、既存のOEM販売先の春夏商品の受注が減少しました。

この結果、売上高は1億1千1百万円（前年同四半期比22.4%減）、セグメント利益（営業利益）は1千1百万円（前年同四半期比32.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債および純資産の状況の分析）

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、15億3百万円増加し、97億1千8百万円となりました。これは、現金及び預金が17億2百万円増加し、商品が2億1百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、7千3百万円減少し、76億3千1百万円となりました。これは、建物及び構築物が5千7百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、14億2千9百万円増加し、173億4千9百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、2億7千1百万円減少し、48億5千万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が3億5千6百万円増加し、短期借入金が6億円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ16億1千万円増加し、84億1千9百万円となりました。これは、長期借入金が16億3千3百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、13億3千8百万円増加し、132億6千9百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、9千万円増加し、40億7千9百万円となりました。これは、利益剰余金が1億2千6百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.6ポイント減少し23.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「財務活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「投資活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ17億2百万円増加し、32億6千7百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3億8千6百万円(前年同四半期は6億8千5百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2億6千3百万円の計上、たな卸資産の減少2億7千4百万円、法人税等の支払額2億4千万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1千5百万円(前年同四半期は1千2百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1千4百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、13億6千1百万円(前年同四半期は5億5千5百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入れによる収入25億円、短期借入金の純減少額6億円、長期借入金の返済による支出5億9百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現在の状況を踏まえ、平成24年5月8日の決算短信にて発表しました平成25年3月期の業績予想を見直した結果、当該四半期において平成25年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更が損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,567,178	3,270,072
受取手形及び売掛金	1,098,422	1,214,280
商品	4,968,187	4,766,500
未着商品	177,650	105,653
貯蔵品	19,310	18,159
繰延税金資産	157,668	217,622
その他	250,337	148,237
貸倒引当金	△23,354	△22,034
流動資産合計	8,215,399	9,718,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,969,361	3,911,863
土地	3,321,205	3,321,205
その他(純額)	239,572	225,163
有形固定資産合計	7,530,139	7,458,232
無形固定資産	64,676	57,792
投資その他の資産	※1 110,075	※1 115,105
固定資産合計	7,704,891	7,631,130
資産合計	15,920,291	17,349,623

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,148,593	987,597
短期借入金	600,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,921,455	2,278,254
未払法人税等	251,325	126,099
賞与引当金	159,649	93,501
役員賞与引当金	—	1,781
ポイント引当金	34,097	34,462
その他	1,006,693	1,328,499
流動負債合計	5,121,814	4,850,196
固定負債		
長期借入金	6,585,975	8,219,852
退職給付引当金	75,174	78,842
環境対策引当金	15,779	13,568
資産除去債務	29,303	29,436
その他	102,859	77,914
固定負債合計	6,809,092	8,419,614
負債合計	11,930,906	13,269,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	437,480	450,452
資本剰余金	1,136,112	1,148,990
利益剰余金	2,526,942	2,653,017
自己株式	△136,747	△139,510
株主資本合計	3,963,787	4,112,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,677	△757
繰延ヘッジ損益	25,501	△33,622
為替換算調整勘定	△1,582	1,243
その他の包括利益累計額合計	25,596	△33,136
純資産合計	3,989,384	4,079,812
負債純資産合計	15,920,291	17,349,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	6,247,299	5,919,867
売上原価	3,697,831	3,517,369
売上総利益	2,549,467	2,402,498
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	663,788	659,838
貸倒引当金繰入額	10,928	4,681
ポイント引当金繰入額	11,258	11,972
給料手当及び賞与	537,740	539,409
賞与引当金繰入額	86,118	93,501
その他	806,891	749,353
販売費及び一般管理費合計	2,116,726	2,058,757
営業利益	432,740	343,740
営業外収益		
受取利息	659	793
受取配当金	353	368
物品売却益	1,973	2,330
その他	6,751	6,210
営業外収益合計	9,738	9,702
営業外費用		
支払利息	38,202	33,092
為替差損	39,257	56,803
その他	3,241	263
営業外費用合計	80,701	90,159
経常利益	361,778	263,283
特別損失		
固定資産除却損	4	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純利益	361,774	263,283
法人税、住民税及び事業税	217,352	119,955
法人税等調整額	△65,341	△30,746
法人税等合計	152,010	89,208
少数株主損益調整前四半期純利益	209,764	174,075
四半期純利益	209,764	174,075

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	209,764	174,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△922	△2,435
繰延ヘッジ損益	△23,642	△59,123
為替換算調整勘定	1,572	2,825
その他の包括利益合計	△22,992	△58,733
四半期包括利益	186,771	115,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	186,771	115,342
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	361,774	263,283
減価償却費	88,499	87,458
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,733	△1,319
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△71,038	△66,148
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,313	1,781
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	324	365
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,672	3,668
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	—	△2,210
受取利息及び受取配当金	△1,012	△1,161
支払利息	38,202	33,092
為替差損益 (△は益)	19,839	30,593
売上債権の増減額 (△は増加)	△282,783	△114,443
たな卸資産の増減額 (△は増加)	337,202	274,876
仕入債務の増減額 (△は減少)	△72,955	△162,576
その他	349,650	312,080
小計	777,420	659,340
利息及び配当金の受取額	1,017	938
利息の支払額	△37,647	△33,888
法人税等の支払額	△54,902	△240,346
営業活動によるキャッシュ・フロー	685,887	386,043
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	△300
有形固定資産の取得による支出	△12,219	△14,649
投資有価証券の取得による支出	△538	△538
その他	289	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,768	△15,467
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△600,000
長期借入れによる収入	—	2,500,000
長期借入金の返済による支出	△501,269	△509,324
自己株式の取得による支出	△3,448	△2,763
ストックオプションの行使による収入	—	25,850
配当金の支払額	△42,187	△42,217
その他	△8,868	△10,205
財務活動によるキャッシュ・フロー	△555,773	1,361,339
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,089	△29,319
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	98,255	1,702,594
現金及び現金同等物の期首残高	2,352,030	1,565,278
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 2,450,285	※1 3,267,872

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I. 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,342,987	2,760,890	143,422	6,247,299	—	6,247,299
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,342,987	2,760,890	143,422	6,247,299	—	6,247,299
セグメント利益	546,238	6,234	17,150	569,623	△136,882	432,740

(注) 1 セグメント利益の調整額△136,882千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,114,807	2,693,793	111,265	5,919,867	—	5,919,867
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,114,807	2,693,793	111,265	5,919,867	—	5,919,867
セグメント利益又は損失 (△)	453,388	△1,662	11,652	463,379	△119,638	343,740

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△119,638千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。